

ナスバ運輸安全マネジメント評価報告書

事業者名称： 名古屋国際観光バス株式会社	評価実施場所： 愛知県大府市横根町酉新田 69 番地 3
代表者氏名： 取締役社長 鈴木 孝典	評価チームリーダー： 認定機関評価員 荒川内 綾乃

総評：（詳細項目は別添参照）

〔評価事項〕（取組が進んでいる事項）

- ① 経営トップは、乗務員の高齢化に起因する健康起因事故発生リスク低減に向けて取り組まれるとともに、各要員の負担軽減や必要な力量の付与に係る積極的な安全投資の他、人材確保と定着に向けた取組を推進する等、安全管理体制の維持・向上に努められていること
- ② 安全統括管理者は、安全確保を阻害する要因の1つである健康起因事故リスクの低減に向け、「健康チャレンジ」等の取組を推進され、リスクの低減に取り組まれるとともに、接客・接遇面の模範例を取り入れた動画を活用した教育を実施する等、安全管理体制のキーパーソンとして、その責務を遂行されていること
- ③ ヒヤリ・ハット情報の収集・活用については、乗務員の参画意識に配慮した各種施策により、各員毎月1件以上の報告件数目標を達成されるとともに、事故の未然防止に向けた取組強化に繋がられていること
- ④ 技能要員への教育・訓練については、「班長」の登用による教育の工夫に加え、新人乗務員への着実なスキルアップに向けた取組等を通じて、力量の維持・向上に繋がられていること

〔助言事項〕（今後の取組の推進事項）

- ① 安全重点施策について、例えば「健康チャレンジ」等の施策推進を通じて、「何が」「どの程度向上したか」の程度を観測可能な客観的指標を設定し、各種施策の効果の程度の把握に繋がれること

〔期待事項〕（助言には至らないものの、今後の取組が推奨される事項）

- ① 内部監査について、現行の実施体制が確立された後、有効性の視点に立った内部監査の実施が可能となるよう、必要となる見直し・改善に着手されること

署名・記名：独立行政法人自動車事故対策機構 安全指導部 部長

東 浩 基

備考